

11月6日（月）2年学年懇談会（公開講座） 聖徳大学の鈴木由美教授による講演会がおこなわれました。（視聴覚教室）



2年生の保護者、公開講座参加者で100名近くが参加しました。



聖徳大学 児童学部 児童学科 鈴木由美教授

講演内容

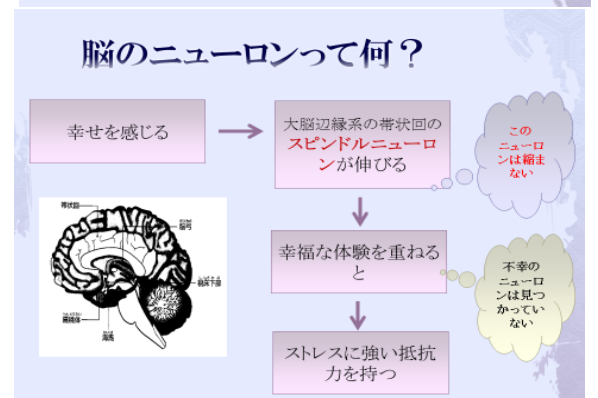
青年期の子どもとの接し方 ～親の心構えとは～

今回の講師である鈴木由美先生は、臨床心理士・学校心理士・上級学校カウンセラーであり、現在は聖徳大学児童学部児童学科で教授をなさっています。先生は教育現場での学生との交流や、ご自身の子育ての経験などから、子どもたちとどのように接するべきかという課題について、具体的な事例を交えながらお話してくださいました。

“しだいに親離れしていく子どもとの時間をどう過ごしていくか” “子どもの考えや行動を、まずは親がどのように認めて受け容れるべきか” という、子どもに接する保護者の心持ちについても、ご自身の指導の経験などから語っていただきましたが、中でも“部活動を3年間まじめに続けた控え選手は就職活動にも強く、企業からもその継続力などが評価されている”というエピソードには、参加者からも多くの驚きの声が上がっていました。

先生の研究対象である脳のお話については、人間の能力の伸長に関わる「幸せのニューロン」の存在や、記憶力向上が期待される食べ物などに

講演資料 一部抜粋



ニューロンが伸びる喜びとは？

美しい風景・おいしいもの
頑張ってきた達成感
一生懸命やって人に褒められた時

一番伸びるのは、
人にほめられたとき

その後につらいことがあっても耐えられる心を育てる

ついて、研究的な視点から分かりやすく教えてくださいました。“子どもが一生懸命頑張っているときにしっかりと認めてほめることで、「幸せのニューロン」が伸び、想像力や記憶力の向上につながる”というお話には、驚きや共感など、特にさまざまな反応が見られました。

鈴木先生にはご多忙中にもかかわらず、本講演のために遠方からお越しいただき、まことに感謝しております。ありがとうございました。

脳の伝達物質とは

興奮性 脳のアクセル	アドレナリン ドーパミン
抑制性 脳のブレーキ	GABA タウリン
安定性 脳の幸福	セロトニン
記憶 記憶・集中を高める	アセチルコリン

脳には栄養が必要

- ①興奮 ノルアドレナリン ドーパミン
- ②抑制 GABA
- ③安定 セロトニン
- ④記憶力 亜鉛

自分は頭が働かない → 興奮させたい →
ちょっとイライラしている →
心を安定させたい →
記憶力をよくしたい →

